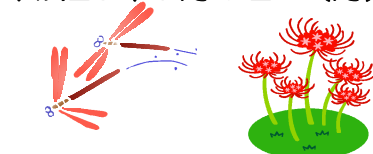


# チーム えがお

《学校教育目標》『自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成』  
 ☆「かしこく」自ら学ぶ子 ☆「やさしく」心豊かな子 ☆「たくましく」やりぬく子



発行者:校長 岡田 達也

～ えがお かがやき かんばる 学校 困うえんだん 「チーム北川」～

## 自ら問題を見つけて「学び」を進める!



### ～ 校内科学発表会 ～

本校では、夏休みの課題に「科学研究」を出しています。科学研究は、本校の特色であり、渡邊科学賞を創設し、その伝統を今に継承しています。

本年度は、夏休みを利用して71人の子どもたちが科学研究に取り組みました。学年の発表会を経た各学年の代表者18人による校内科学発表会を9日(金)の5・6時間目に開催し、その中から「渡邊科学賞」1人、「準渡邊科学賞」17人を決定しました。そもそも科学研究や自由研究には次のような意義があります。

子ども自身が自然に触れ、自然の様々な事象に問題を投げかけ、その答えを自ら導き出すという、子どもの探究心や探求する態度を育てる。

子どもたちが生活の中で、「ふしぎだなあ」「どうしてだろう」と疑問に思うことが、科学研究の大切な入り口です。その疑問について考え、観察や実験を通して調べ、その結果をもとに答えを導き出していくのです。その過程で新たな疑問に出会い、研究をより深めていくことができるのです。

つまり、科学研究に取り組むことで、

- ①自主性 (自分で興味をもち、粘り強く最後までやりとげる)、
- ②創造性 (観察や実験の方法やその結果のまとめ方などを自分なりに工夫する)、
- ③信頼性 (結果を正しく記録したり、事実と考えたことや思ったことを区別したりする)、
- ④論理性 (観察や実験の結果をもとに考察する)、
- ⑤安全と自然への配慮 (自然を大切にして研究を進める)

などを育てることにつながります。



### 【校内科学発表会『研究テーマ』】

- |    |   |                  |
|----|---|------------------|
| 1年 | ◇「ハエとりぐさのかんさつ」                            |                  |
| 2年 | ◇「いきたか石『トリオプス』をそだてよう」                     | ◇「つかめる水づくり」      |
| 3年 | ◇「アリのすのかんさつ」                              | ◇「何がじしゃくにつくのかな」  |
|    | ◇「液体は全部凍るのか」                              | ◇「スズムシのかんさつ」     |
|    | ◇「ふしぎな氷」                                  | ◇「太陽とかげの動きを調べる」  |
| 4年 | ◇「ふりこの研究」                                 | ◇「飲みもののとう分調べ」    |
|    | ◇「わたのたねのかんさつ」                             |                  |
| 5年 | ◇「塩の水すいだし実験」                              | ◇「電気をくだものでつくろう」  |
|    | ◇「チューリップの種って、どんな種」                        |                  |
| 6年 | ◇「北川は地震に強いのか調べてみよう」                       | ◇「でんぷんを取り出してみよう」 |
|    | ◇「ジャンボタニシの研究パート2 ～ジャンボタニシの卵を産ませない方法について～」 |                  |

ぜひ、「緊急配信メール」への登録をお願いいたします!